福岡大学同窓会紙
(編集・広報委員会)

有信

有信会のアドレス
http://www.yushin.jp/
Eメール
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

講演会に750人

会員大会懇親会であいさつする川畑理事長(壇上)

会員大会

和やかに交流深める

支部長会、代議員総会も

講演会の聴衆七百五十人、会員大会の参加者五百五十人超―一般社団法人になった福岡大学同窓会有信会(川畑懿子理事長)の平成二十六年度会員大会が六月二十一日、福岡市博多区のホテル日航福岡で開催された。支部長会や代議員総会のあと行われた講演会には一般市民も含めて約七百五十人が詰めかけ、会場は熱気に包まれた。懇親会も母校から来賓を迎えて会員たちが和やかに交流を深めた。

会員大会はまず支部長会から始まった。東京から沖縄まで六十一の地域支部や三十八の職域支部から支部長が集まり、午後一時に開会。近年に就任した新支部長十人が「自己紹介及び支部活動等について」さまざま語った。

代議員総会は有信会の最高議決機関。各学部から選出された三百二人のうち委任状を含めて約八割に当たる二百四十三人が出席。議長に百田篤代議員(商42)を選出して、監査報告、事業報告、収支計算書等報告などがあった。いずれも全員の挙手で承認された。

講演会は午後四時から。評論家の金美齢さんが「アジアの中の日本」と題し、約一時間半にわたって語った。講演前から会場には次々にイスが追加された。それでも収容しきれず、ロビーまで溢れた聴衆はスピーカーで流れる音声に聞き入った。

最後の会員大会懇親会は交響楽団の「式典序曲」演奏で始まった。母校の衛藤卓也学長を先頭に副学長や各学部長らが入場。川畑理事長が主催者あいさつに立ち「有信会は一般社団法人へ移行するに当たって母校へ特定寄附をしました。今後とも大学との架け橋になりますので、会員のお力添えを」と要請した。

会務報告に続いて衛藤学長が来賓祝辞。「大学は今年で創立八十周年。交流協定を結んでいる海外の大学等も五十五校に増えました。本学にとって有信会は無形の財産です。見守ってください」と強調。退任役員や支部長へ感謝状贈呈があり、金美齢さんも加わって懇親会があった。(2、3、4面に関連記事)

母校バラ園 今年も満開

有信会5年寄贈目

母校創立七十五周年を祝って、有信会が母校に寄贈して五年目のバラ園が今年も五月中旬に満開となった。「愛」の花言葉を持つ大小さまざまな種類と赤、黄、白など多彩な花びらは見事。甘い薫りが園内に漂い、学生たちもうっとり。見逃した会員は紙面を通じて写真でご鑑賞を―。

バラ園は母校本館の中庭ロータリー部とA棟前広場の二か所に、計四十種四百八十株が植栽されている。「English Garden」の記念碑がある中庭のバラ園は四月下旬から咲き始め、五月になって蔓バラも開花。寄贈以来、秋も加えて年二回咲いている。

本号12頁

2面	代議員総会を開く
3面	支部長会で10人が発表
4面	在学生との懇談会
5面	五輪に挑んだ七隈群像
6-7面	支部総会の記録
8-9面	事業、収支報告
10面	母校・福岡市、連携協定
11面	卒業式・入学式

「アジアの中の日本」と題した金美齢さんの講演会は会員だけでなく、一般市民にも公開された。新聞各紙に広告が出ると申し込みが殺到。先着三百人に整理券を出したが、その後も問い合わせが相次いだほど。講演では八十歳とは思えないほどのパワーを見せつけた。終わったのち、有信会レディーズクラブから花束贈呈があり、拍手が鳴り止まなかった。

金美齢さんの講演要旨

超満員の会場で講演する金美齢さん（前方）

演題『アジアの中の日本』

日本は世界一の長寿国。空気、水、緑、それに秩序を大切にしてきた。アジアの中の日本ではなく、世界の日本だ。福岡はアジアの玄関と言われるが、世界に向けて開かれている。街の案内板を四カ国語で出したのも福岡が一番だった。

日本は小さな国と言う。だが、世界約二百カ国の中で六十位。アメリカ、カナダ、インド、中国などと比べると小さいが、比べる必要はない。自虐からの脱却を。ロシアなんか凍土ばかり。日本は北海道から沖縄まで豊かな生産地。人材に恵まれ、資源の豊かな国だ。

花束を喜ぶ金さん

日本の魅力を世界へ

日本は「おもてなし」の国。昨年は海外から観光客が一千万人もきた。空港が近く、食べ物も美味しい福岡や日本の魅力をどうやってアジア、世界に伝えるか。息子が言っていた。「転勤で一番喜ばれるのは福岡」だって。一人一人が観光大使になって欲しい。

日本の財産は人材。大学はしっかり働くことを教えて欲しい。先輩の後を追って若者が育つ。その点、有信会は立派な同窓会。今回の講演会でも連絡が緻密で丁寧だった。多くの国が日本大好き。世界は日本が何を言うか、待っている。

［金美齢さん＝日本統治下の台湾で1934年生まれ。1959年来日、早稲田大学入学。多くの大学で講師を歴任。テレビ、新聞、雑誌でさまざま提言］

挙手で承認する代議員総会

代議員総会

全議案 挙手で承認

理事長 質問にていねい回答

有信会にとって最高議決機関である代議員総会。各学部から選出された代議員が、執行部提案の全議案を挙手で承認した。事前に代議員から提出されていた質問に対しても、川畑理事長がていねいに回答。全く波乱なく終わった。

代議員総会は川畑理事長のあいさつで始まった。議長が選出されて議事。大野監事から監査報告があり、平成二十五年度の事業報告と収支計算書等報告があった。大神事務局長が一般社団法人への移行に伴う公益目的支出計画実施報告書等の件を説明。

さらに「社団法人」から「一般社団法人」に移行することで各種規則にある名称を改正する案も提出された。また、理事の辞任・就任についても承認された。新しく就任した理事は経済学部同窓会会長になった野見山優さん（経44）。

事前に提出されていた質問は三点。川畑理事長が「特定寄附金の使途について」では「母校学生課で使途を検討中。経済的に困っている学生に使えないか申し入れている。返答があり次第お知らせする」と回答した。

また「母校への提言活動の実施」「懇親会入場券の発行」などについても、同理事長が「有信会として言わねばならないことは大学理事会の場でも申し上げています」などと答えた。

演武を披露する応援団

「式典序曲」を演奏する交響楽団

応援指導部や交響楽団協力

会員大会・懇親会では現役学生たちによる応援指導部や交響楽団の協力があり、アトラクションが会場の雰囲気を盛り上げた。

アトラクションで活躍したのは応援指導部。応援団（藤田大輝団長ら十一人）、スクールカラーのエンジ色ユニフォームに身を包んだ女性のチアリーダーたち、さらに吹奏楽団などが総出でさまざま演技、演奏を見せた。交響楽団は大会冒頭、式典序曲を演奏。一瞬、会場を厳粛な雰囲気に包み込んだ。

新任支部長10人が苦心談

最大の課題は人集め

支部長会

真剣に聞き入る支部長会

会員大会当日の皮切りは支部長会。地域支部六十一、職域支部三十八のうち約五十人の支部長と有信会役員など二十数人が出席した。「自己紹介及び支部活動等について」をテーマにスピーチしたのは十人。いずれもここ一、二年内に就任した新任支部長ばかり。あの手この手で苦心している支部活動の実態が浮き彫りになった。

☆スピーチした新任支部長☆

支部名	支部長	卒年
徳島県	川村　格	(法47)
柳川	石橋　功亘	(法42)
浮羽	武下誠一郎	(経38)
太宰府	神﨑　進	(経45)
京築	桝谷　忠明	(商45)
人吉球磨	椎葉　文雄	(法49)
山鹿	松熊　孝文	(薬45)
日田	川﨑　邦輔	(商51)
宮崎県	黒木　奉武	(法40)
八女筑後	久保　誠	(商48)

新任支部長の苦心の中で最も大きな課題になっているのは「人集め」。支部総会をはじめ各種行事をやる時、会員たちをどうやって集めるか。特に若手会員や女性会員の参加を増やす決め手がないという。

催し物の内容や時期に悩むのも会員の参加を増やすため。資金的な悩みも聞かれた。有信会役員はもちろん、支部長ら役員もボランティア。活性化のためには手出しも増えているようだ。新任支部長十人の発言要旨は下記のとおり。

新支部長発言要旨

川村・徳島県支部長　出身は熊本です。警察官でしたが、一昨年に退職。「支部長をやれ」と言われて就任。社会奉仕をしなければ、と思っています。パソコン時代なので少しでも若い人と交流を図りたい。

石橋・柳川支部長　休眠していた支部を平成十八年五月に再開して、八日会も年二回行っています。総会、八日会とも出席者は二十五人以下。有信会からの援助がなくなるのでは、と心配してます。

武下・浮羽支部長　支部総会には五十人前後が参加しています。ハガキで案内しても効果がないので、役員数を増やして動員をかけます。資料にはスポンサーも募っています。会報も年三回発行します。

神﨑・太宰府支部長　支部設立から十三年。三年前に支部長を引き継ぎました。「明るく、楽しく、元気よく」がモットー。会員は二百十人いますが、出席率が悪く、悩んでいます。若い役員を入れたい。

桝谷・京築支部長　初代支部長から昨年引き継ぎました。福大生は打たれ強い。支部としては女性会員を増やしたい。これまで同様に、近隣支部との友好も深めていきます。有信会は不滅です。

椎葉・人吉球磨支部長　支部設立から来年が三十年になります。年三、四回の道路掃除をしています。のぼり旗を立て、一回二時間程度です。総会参加者は三十人前後で、楽しくやることが大切です。

松熊・山鹿支部長　支部長は私で五代目です。会員は名簿上五十人ですが、実質三十人ほど。昨年は忘年旅行をやりました。毎月第一木曜に五、六人が集まってノミニケーションしています。

川﨑・日田支部長　総会の動員が大きな課題です。女性は続かないのが残念。川開きに併せて総会を開催すると、家族から文句が出ます。支部は一度休眠しました。二度とないよう頑張ります。

黒木・宮崎県支部長　県下の卒業生数は約八百人。総会には百十～百二十人が参加します。少し物足りない。女性も増やしたい。そこで職場を代表する幹事を多めにして会員券をさばいてもらっています。

久保・八女筑後支部長　九州新幹線そばにプロ野球ソフトバンクの拠点が出来るので期待しています。総会は二年に一回。参加は五十人前後。手出しが増えると長続きしないので、パンフに広告も取っています。

退任の役員、支部長6人へ

感謝盾などを贈呈

会員大会で感謝盾や感謝状を贈られた退任の役員、支部長は合わせて六人。役員一人、支部長は五人のうち出席した三人がステージに上がり、川畑理事長から手渡された。

ステージ上では全員が役目を終えたためか、晴れやかな表情。まず、有信会理事を七年間務めた田中義孝さんに感謝盾が贈られ、続いて支部長だった三人の中から代表で、八年間にわたって東京支部長だった芹川孝一さんにも渡された。会場から大きな拍手も贈られ「ご苦労さんでした」との労いの言葉も聞かれた。

贈呈された退任者は次のとおり。（　）内は卒年、在任期間。敬称略

［理事］田中義孝（体48、七年間）

［支部長］▽東京支部長＝芹川孝一（経43、八年間）▽広島支部長＝大前昭義（経40、十四年間）▽周南支部長＝田村俊雄（法43、七年三カ月）▽古賀支部長＝石橋正之（九専法18、十二年間）▽糟屋支部長＝安武一明（商42、三年間）

感謝盾を受ける田中さん㊧

退任支部長の芹川さんら

まず「あいさつ」を

在学生との懇談会

社会人のルール説く

山本社長　学生たちへ辛口卓話

有信会が毎年五月に開催している恒例の「在学生との懇談会」が今年も五月九日、福岡市中央区の福岡国際ホールで行われた。（株）ホテルニューオータニ九州の山本圭介社長（工53）が学生たちを前に卓話。体験を通した社会人のルールとして「まず、あいさつを！」と説いた。

卒業生たちの意見を聞く女子学生ら

4百人近く

同懇談会は昭和三十八年から続いているもので、今回が五十二回目。母校から衛藤学長ら役職者、各クラブ活動の部長、監督、現役学生たち、有信会からも招待者を含む会員たちなど、合わせて約三百九十人が出席した。前回よりやや多かった。

川畑理事長がまず学生たちに対して「会場には先輩たちもたくさんお見えです。いろいろ尋ねて、人生の糧にしてください」とあいさつ。来賓の衛藤学長も「二十四万人を超す卒業生は裾野の広い人脈。先輩たちとのコミュニケーションを大切に」と呼びかけた。

来賓紹介に続いて山本社長の卓話。題して「私の履歴書　36年のホテル人生」。工学部を卒業、ホテルに入社して以来の足取りをたどりながら、裏話や苦労話も披露。学生たちに進路選択の心構えを諭した。

卓話のあとは懇親会。十二テーブルに来賓や有信会役員、特別招待者が分かれ学生たちと和やかに談笑した。クラブ活動の先輩を探す学生も見られた。

山本社長

卓話要旨

博多は東京、大阪、札幌についでホテルの客室が多い。社内のいろんな職場を回って、先輩たちの所作を見ながらホテルマンの基礎を徹底的に学んだ。自分でメモしたものを夜中に読み返す毎日。それが血となり、肉となった。現在、新卒を二十五～三十人採用しているが、五人前後が一年以内に転職する。それらに共通していることは、いずれも言葉遣いが悪い、謙虚さがないなど。まず人間として「あいさつ」ができることが必要だ。自分の適応性とコミュニケーションの取り方を考えて欲しい。そのためにはボランティア活動に参加するのも方法と思う。

初参加者が見た会員大会

有信会の26年度会員大会に出席した会員の中には初めての参加者も数多かった。希望者29人が有信会に加入した旧福岡大附属看護専門学校卒の女性たち、卒業して50年ぶり初めて東京から駆け付けたというＯＢ、さらに今春に卒業したばかりの新社会人など。そうした初参加者たちに会員大会の印象を聞いてみると―。

会員大会に初参加した看護専門学校卒業の女性たち

パワー戴きました　来年も出席したい

二月の理事会で有信会会員として加入が承認された看護専門学校卒の女性たちはグループ六人が揃って参加した。同校同窓会「楓会」の事務局を担当している内山美枝子さん（昭和54卒）らは「金美齢さんの講演会が素晴らしかった。お声にも張りがあって、パワーを戴きました」「懇親会も初めてだったが、昔の先生にもお会いできたし、もう何回もきている感じだった」「十一月のレディーズクラブのつどいにも出かけてみたい」と上々の反応。

五十年ぶり初めて参加したのは東京在住の中原年男さん（法39）。到着が遅れて講演会は会場ロビーのスピーカーで聞いたが、懇親会には出席した。「隔世の感があります。感動しました出席したいですね」と感激していた。中原さんは学生時代は弁論部にいて、学術文化部会の常任幹事長も務めた。

一方、初々しい新卒は櫨山貴仁さん（経H26）。母校の職員として就職したばかりという。「上の人との繋がりを改めて感じました。これからも有信会のいろんな行事に参加したいと思います」と、目を輝かせていた。

大濠高同窓会　500人参加

福岡大附属大濠高校の同窓会（川邊義隆会長）の第六十一回総会・懇親会が五月十七日、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で行われた。来賓や会員たち合わせて約五百人の参加者が交流を深めた。

「君も行くか！俺も行く！」をキャッチフレーズにした同窓会。六十周年記念だった前回は千二百人もの参加者があって、会場は超満員だった。今回は比較的ゆったりだったが、熱気に包まれた。有信会からも川畑理事長らが出席。祝辞を述べた。

五輪に挑んだ七隈群像 ③

1980　モスクワ五輪

母校が生んだ世界のトップランナーはまだ数少ないが、そのうちの一人が昭和五十、六十年代に長距離ランナーとして活躍した喜多秀喜さん（商50）だ。五十五年のモスクワオリンピックでは陸上競技の五千メートル、一万メートルの二種目の代表になった。だが、悲運……レースには出場出来なかった。翌年に初めて開催された第一回東京国際マラソンで優勝、無念を晴らした。現在、流通経済大学の社会学部教授で陸上競技部監督を訪ねた。

陸上 5000 10000m　**喜多　秀喜さん（商50）**

学生の練習を見守る喜多監督

喜多さんが福岡大に入学したのは昭和四十六年。佐賀県の鹿島実業高三年時、九州大会の五千メートルで二位になって注目された。当時、母校陸上部の金森勝也監督に「うちにこないか」。この時の一位は後に旭化成に入った宗猛選手だった。

大学生活はとにかく「走れ！走れ！」。学生でありながら社会人と一緒にレースに挑んだ。当時の九州・山口の陸上界は旭化成、八幡製鉄、九電工、カネボウなどに多士済々。ここで心身ともに鍛えられた。

大学四年生になった六―七月の約五十日間、日本代表選手としてヨーロッパ遠征。ヘルシンキで一万メートルに28分48秒6の日本学生新記録を出し、澤木啓祐選手（順天堂大）の持っていた記録を更新した。昭和五十年春、神戸製鋼に入社。

昭和五十五年夏のモスクワ五輪に出場する選手選考会では一万メートルで優勝、五千メートル二位。しかし、前年十二月にクーデターの起きたアフガニスタンにソ連軍が侵攻したことから、アメリカに倣って日本も五輪ボイコットを決定。スポーツが政治に屈する形になった。

「うっ憤はどこにも持って行けなかった」と、今でも残念そう。この五輪には喜多さんを含めて福岡大OBの四人が出場することになっていたが、いずれも無念の涙を呑んだ。

三十九歳までの現役生活でマラソンには三十一回出場。昭和五十三年にミルトンケーネスで行われたイギリス選手権をはじめ別府大分、東京国際、北京国際などで優勝、途中棄権はわずか一回だけ。自己最高記録はマラソンが2時間10分30秒、一万メートル27分48秒59、五千メートル13分27秒44。

神戸製鋼の陸上部監督を経て、平成六年には帝京大陸上部監督へ。三年目から箱根駅伝の常連校にした。十年間いて、同十七年から流通経済大へ。同大の茨城県龍ヶ崎キャンパスで箱根駅伝初出場を目指す。

現在の駅伝部員は五十六人。「三分の二が九州出身者です」と笑う。雨の日も風の日も練習の連続。朝十キロ、夕二十キロ、週末は三十キロを走らせる。強くなるためには「素質＋努力＋考える力」と言う。学生寮で一緒に夕食を摂り、指導と観察に明け暮れる。

関東地区の大学約五十チームが出場する箱根駅伝の予選会は十月十八日。上位十チームが本番へ。だから、喜多さんも寮近くにアパートを借りて、埼玉県上野原市の自宅に帰るのは週一回だけ。六十一歳。

悲運のランナー ボイコット事件

ラクビー部80周年記念式典で壇上に並んだ現役部員たち

創部80周年祝う

ラグビー部

ＯＢは900人にも

福岡高商の開校時からスタートした母校ラグビー部が創部八十周年を迎えた。部ＯＢ会（田中良彦会長）はこれを祝った記念式典を五月十七日、福岡市博多区のグランドハイアット福岡で盛大に催した。

記録によると、高商の誕生とともに発足したスポーツクラブはラグビーをはじめ柔道、剣道、バレー、バスケット、野球など。学校を広くアピールするため当局も積極的だったらしい。このため、ラグビー部のＯＢは約九百人に上る。

福岡大に改称される前の昭和二十九年には全国地区対抗大学大会に出場、決勝戦にまで進出した。同大会には例年のように出場して平成二十五年までに計六回も優勝。しかし、全国大学選手権の壁はまだ厚い。

記念式典には大学から田中スポーツ科学部長、有信会からも川畑理事長らが出席。九州大、西南学院大、福岡工大などのライバル校、ＯＢや現役など約百六十人が参加。田中ＯＢ会長が「関東、関西にはまだ水を開けられている。現役は勝つために責務を全うして欲しい」とあいさつした。

祝辞に立った来賓の田中学部長は「日本のラグビー協会も発足八十八年。母校は今、環境も整っている」。川畑理事長も「時代を拓く人づくりをして、打倒関東を果たして欲しい」。また、ＯＢの一人は学生たちに「名前負けせず体を張れ！」と檄を飛ばした。

現在の部員数は女性四人を含めて七十一人。最後に部員全員がステージに上がって「あーあー　福大ラグビー　栄あれ」と伝統の部歌を高らかに合唱した。

奈良支部

大阪、神戸からも

奈良支部の第二十五回総会は三月八日、奈良ロイヤルホテル別館で開かれた。大阪、神戸両支部長を迎え、八人が参加。会計報告があり、支部運営についての意見などが出された。参加者十人程度を見込んでのハイキング企画、講演会の開催などが提案された。節目の総会とあって参加者には紅白の饅頭を配って祝った。

田川支部

会員参加百人超す

田川支部は第四十一回総会を三月八日、田川市のザ・ブリティッシュヒルズで行った。母校から衛藤学長、有信会から川畑理事長、近隣の北九州、宗像、飯塚、直鞍、田川、京築、添田各支部の役員ら来賓二十二人と、会員も初参加五人を含めて百五人が集まった。道支部長あいさつのあと事業報告、会計報告などがあった。懇親会では来賓あいさつに続いて歓談。アトラクションで地元の県立大学学生・OBによるパフォーマンス集団「CDR21」の歌と踊りがあった。福引き大会では古賀副支部長からワイン二十本の差し入れがあり、盛り上がった。

山鹿支部

役員はすべて留任

山鹿支部の第十三回総会は四月十九日、山鹿市の富士ホテルであった。有信会から植村理事を迎え、会員合わせて十八人が参加した。松熊支部長あいさつがあって議事。役員改選では全員が留任に決まった。年会費を現行二千円から三千円に改定する件は「出席会員を増やす

総会は四月二十九日、人吉市のアンジェリーク平安に有信会から川畑理事長を迎えて開かれた。会員も十七人が参加。椎葉支部長あいさつに続いて議事。事業・決算報告が承認された。事業計画では地域貢献として行ってきたボランティア清掃を今後も続けることが確認された。懇親会では世代を超えた交流がおこなわれた。

糟屋支部

新支部長に今任さん

糟屋支部の第八回支部総会は五月十日、福岡市博多区の八仙閣で開催された。有信会の川畑理事長、古賀支部から役員二人が来賓として出席。会員は六十人が参加した。議事では、三年間を任期とする規約改正が承認され、新支部長に久山分会の今任哲次郎さん（経47）事務局長に津原克規さん（経58）が選出された。懇親会は吉村顧問の乾杯で幕開き。糟屋郡内七町分会の二十代～八十代会員が交流を深めた。各分会の活性化と会員拡大をお願いしていきたい。

大牟田支部

叙勲受章者に花束

第五十六回を数える大牟田支部総会は五月十日、大牟田市のオームタガーデンホテルで開かれた。有信会から井上理事と近隣支部の役員、会員を加えて総勢五十四人が参加した。山田支部長あいさつ、井上理事の祝辞があり、昨秋と今春の叙勲で地方自治功労で「瑞宝小授章」と「旭日双光章」を受章した塩山隆さんと馬淵龍助さんの二人にお祝いの花束が贈られた。活動報告、収支決算が承認されて懇親会が賑わった。

浮羽支部

市長が地域を話す

浮羽支部は第十八回総会を五月十日に筑後川温泉の桑の屋で行った。有信会から佐藤副理事長、近隣の久留米、小郡三井、八女筑後各支部の役員などが出席。会員四十一人が参加した。武下支部長が「支部活性化のために会員の協力を」と呼びかけた。会員として出席した木高典雄市長が地域の話題などを披露。活動報告や決算報告を承認した。懇親会は最後に校歌を合唱して盛り上がった。

柳川支部

震災被災地へ寄付

柳川支部の第九回総会は五月十七日、柳川市の中華レストラン北斗星であった。有信会から植村理事が出席、会員も二十一人が参加した。石橋支部長があいさつ、有信会からの祝い金をそっくり東日本大震災の被災地へ義援金として贈ることになり、金子健次市長へ手渡された。懇親会では台湾の歌手・謝宛君さんのステージショーなどもあり、和やかな交流が続いた。

参加者170人超す

北九州支部総会の参加者が百七十人超―第四十七回総会は五月十六日、北九州市小倉北区のステーションホテル小倉で開催された。大学からの出席はなかったものの、有信会から川畑理事長ら、さらに近隣支部の役員や文部科学副大臣の西川京子衆院議員ら来賓二十二人の出席があり、会員も百五十人を数えた。総会パンフレット掲載の広告も役員たちの頑張りで百社を超し、目標を達成した。総会の冒頭、宮熊支部長が自身の体験から「健康にはくれぐれも注意するよう」と呼びかけた。川畑理事長から母校の近況などの報告があり、懇親会へ。アトラクションでは大正琴の演奏、ベリーダンスの披露、くじ引きなどで大賑わい。最後は全員肩を組んで校歌斉唱。

北九州支部

古賀支部

平さんが新支部長に

古賀支部の第十三回総会は五月二十五日、古賀市の八仙閣古賀店で開かれた。母校から総合情報処理センターの佐藤研一センター長、有信会から正岡理事、近隣の宗像、糟屋両支部役員ら来賓五人を含めて四十人が参加した。役員改選があり、十二年間にわたって支部長を務めた九十三歳の石橋正之さんが退任、新支部長に平秀次郎さん（商39）を選んだ。有信会から借用した母校のDVDを観覧して懇親会。紅一点の中野事務局長から石橋さんに花束と記念品が贈られた。

佐賀支部

次期年間幹事決まる

ねた佐賀支部の総会は五月十七日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で開かれた。大学から星乃人文学部長ら、有信会から水原理事が出席、会員も六十九人が参加した。母校の近況報告があり、高取支部長が議長になって議事。懇親会では銀行の新入社員の紹介や上司のコメントなどで賑わった。次期年間幹事は佐賀商業高・佐賀学園グループ。事務局の佐賀広告センター・佐賀新聞社グループがサポートしていく。

人吉球磨支部

地域貢献を続けよう

第二十九回人吉球磨支部総会。

ことが先決」として据え置きになった。このあと懇親会。

山口支部

設立40周年を祝う

昭和四十九年に設立された山口支部が四十周年記念総会を五月三十一日、山口市湯田温泉のホテル松政で開いた。母校から衛藤学長、有信会から川畑理事長、さらに県内の三支部役員らを迎え、会員も含めて四十八人が参加した。清水支部長あいさつ、来賓の祝辞に続いて記念講演があった。講師は会員の石川公久さん(体61)。卓球の日本チームのエースで活躍している石川佳純選手の父親。母校出身の両親と娘の歩みを綴ったドキュメンタリーDVDが上映された。懇親会でも佳純選手のサイン入り色紙争奪ジャンケン大会で盛り上がった。締めは四十年間の心を込めて校歌斉唱。

石川選手の父 講演

支部総会の開催記録
(H26年3月－6月)

支部名	開催日	参加数	本部出席者
奈良支部	3／8	8	—
田川支部	8	127	川畑理事長
山鹿支部	4／19	18	植村理事
人吉球磨支部	29	18	川畑理事長
糟屋支部	5／10	63	川畑理事長
浮羽支部	10	53	佐藤副理事長
大牟田支部	10	54	井上理事
商大会	10	53	川畑理事長他
北九州支部	16	172	川畑理事長他
柳川支部	17	22	植村理事
佐賀支部	17	72	水原理事
古賀支部	25	40	正岡理事
山口支部	31	48	川畑理事長
福岡銀行支部	6／6	99	川畑理事長
東京支部	7	77	川畑理事長
周南支部	7	36	井上理事
宗像支部	7	77	伊藤理事
太宰府支部	7	28	大神事務局長
伊万里・有田支部	7	45	小島理事
長崎支部	14	77	川畑理事長
小郡三井支部	15	25	平田理事
熊本支部	20	73	井上理事
法学部同窓会	22	70	川畑理事長他

東京支部

柴崎さんが新支部長

東京支部の二十六年度総会は六月七日、都内千代田区の霞山会館で行われた。母校から衛藤学長ら六人、有信会から川畑理事長を来賓に迎え、会員も七十人が参加した。昨年すでに退任を表明していた芹川支部長が四期八年を総括。役員が無償のボランティア精神で頑張っていることを強調した。役員改選では選考委員会(辛嶋保馬委員長)から経過報告があり、柴崎則之さん(法50)を新支部長とする新役員を満場一致で承認した。懇親会では喜寿、傘寿、卒寿などのお祝いやあいさつなどがあった。

宗像支部

鮮魚、地酒、ダンス

第三十三回宗像支部総会も六月七日、宗像市の国民宿舎「ひびき」で催された。母校から山口理学部長、有信会から伊藤理事、さらに近隣の北九州、直鞍、飯塚、田川、京築、古賀各支部役員など来賓二十一人を含めて計七十七人が参加。天野支部長あいさつに続いて、議事では役員の一部改選があった。懇親会では玄界灘の新鮮な魚料理や地酒がふるまわれ、地元の女性たちによるフラダンスやビンゴゲームのアトラクションで大いに盛り上がった。

福岡銀行支部

新入行員17人参加

職域支部として活動する福岡銀行支部の総会は、新入行員の歓迎会を兼ねて六月六日、福岡市中央区のピエトロ本店で行われた。母校から中川商学部長、有信会から川畑理事長ら来賓五人と会員九十四人が参加した。新入行員は十八人のうち参加十七人(女性十二人、男性五人)。四月から七隈支店長になった國治善信支部長(商H4)らが「本音で話し合い、気軽に相談して欲しい」と新人に呼びかけた。会場は女性も多く、華やかさに溢れた。

太宰府支部

馬頭琴を一般公開

太宰府支部の第十三回総会も六月七日、太宰府市の地域活性化複合施設・太宰府館で開催。有信会から大神事務局長、筑紫野支部役員らを迎え、計二十八人が出席した。第一部は馬頭琴演奏会が一般公開された。中国内モンゴル自治区出身の馬頭琴奏者とチェロ奏者が美しい音色を響かせた。第二部が総会。神崎支部長の提案で役員の一部改選があった。懇親会は第三部として行われ、例年以上に賑わった。

周南支部

ライブが大受け!

周南支部は第四十一回総会を周南市のホテル「ザ・グラマシー」で六月七日に開いた。有信会から井上理事が出席、会員も三十五人が参加した。活動報告、収支報告、役員補充を承認。懇親会では地元の「ミッドナイト・エクスプレス」のライブで盛り上がり、女性部会の設立提案などで話に花が咲いた。最後は校歌とバンザイ三唱。

伊万里・有田支部

高齢者や紅一点も

伊万里・有田支部総会は六月七日、伊万里市の伊万里迎賓館に有信会から小島理事と会員四十四人が参加して行われた。昭和三十年卒という高齢者二人や紅一点も顔を見せ、会場を盛り上げた。小島理事からは母校の近況などを聞き、参加者の自己紹介では仕事での頑張りや退職後の第二の人生を謳歌している話に聞き入った。

長崎支部

久しぶり再会和む

長崎支部の二十六年度総会は六月十四日、長崎市の長崎ロイヤルチェスターホテルであった。母校から山口理学部長ら、有信会から川畑理事長が出席。会員も七十四人が揃った。来賓からあいさつがあり、八十周年を迎えた母校がグローバル化への取り組みを強化していることなどが報告された。総会では予算案など承認。久しぶりに再会した会員たちで懇親会も和んだ。

熊本支部

和やかギター演奏

熊本支部の総会は六月二十日、熊本市の鶴屋百貨店東館のカーネーションサロンで開かれた。母校から山口理学部長ら、有信会から井上理事が出席。会員を合わせて七十三人が参加した。校歌斉唱に始まり、内藤支部長があいさつ。議案が承認されて懇親会。アトラクションではギター演奏があって会場が和んだ。福引き大会でも賑わった。

平成25年度　事業報告書

社団法人有信会は、公益法人制度改革三法の施行により、平成25年4月1日に一般社団法人福岡大学同窓会有信会に名称変更し、移行したことにより解散した。有信会は、一般社団法人へ移行しても従来どおり、福岡大学卒業生の同窓会として会員相互の情報交換、親睦、異業種交流会などの活性化を図ると共に、母校の発展充実のため大学当局との協議、連携の場を持ち卒業生と母校の絆をより強固なものにするよう努めると同時に、公益活動も従前の通り取り組んでいる。また、元福岡大学附属看護専門学校卒業生で、有信会入会希望者は、当法人の会員になることができるようにした。

1．母校への特定寄附

社団法人から一般社団法人へ移行するにあたり、社団法人最後の決算（平成25年3月31日）で算出された公益目的財産額321,949,127円を内閣府の確定通知を経て、平成25年12月10日学校法人福岡大学へ特定寄附をした。

2．公益活動の推進

・母校等への支援を行い、地域社会を含めた活動を実施すると共に、在学生に向け同窓会人材活用による就職進路支援ガイダンスや、学友会対外試合の応援協力を呼びかけ多数の同窓会員が協力した。

・会員以外の一般市民も参加できる公開講演会を6月22日（土）、ホテルニューオータニ博多で、講師に竹田恒泰氏（慶応義塾大学講師・作家）を迎え「日本人はなぜ日本のことをしらないのか」の演題で開催し、880名の聴衆者が傾聴した。

・社会福祉活動として、有信ゴルフ会は、10月3日（木）小郡カンツリー倶楽部でチャリティゴルフ大会を開催し、募金25万円を知的障がい児通園施設「なのみ学園」（福岡市南区）へ寄附した。

3．事業活動の充実と会員相互の親睦強化

①在学生徒の懇談会　5月9日（木）福岡国際ホール（福岡市中央区）にて開催した。

・卓話講師：㈱NHKメディアテクノロジー代表取締役社長　西山博一氏（工学部48年卒）

演　　題：「“変える”とは～未来は動きだしている～」

②会員大会　6月22日(土)ホテルニューオータニ博多において、支部長会・代議員総会・講演会及び会員大会懇親会を開催した。

・会員大会懇親会には、全国から490名の参加があり親睦を深めた。

③レディーズクラブのつどい　11月16日（土）福岡国際ホールにて開催した。

・卓話講師：福岡大学副学長　内藤正俊氏

演　　題：「ロコモティブシンドローム～元気で末永く歩くために～」

④会員懇親会

・有信八日会として懇親会を年9回開催した。

・有信ゴルフ会は、チャリティゴルフ大会を開き参加者は255名であった。

4．広報活動の充実

・有信会の運営や公益活動、全国各支部活動報告及び全国各地で活躍する会員の情報等を発信するため、広報紙「有信」とホームページのそれぞれの機能を充実させた。

5．組織の活性化

・地域支部61・職域支部38、各学部同窓会、学年別同窓会が組織されており、それぞれ総会(同窓会)を開催し絆を深めている。

6．会員データベースの充実と情報の管理体制の徹底

・会員情報の更新のため、調査を行っているが、個人情報保護法の施行により調査に支障をきたすケースが増大している。データの収集・変更・管理・保全等は法令遵守に努めている。

7．財政基盤の強化

・終身会費徴収を徹底し、郵送費削減などを中心とした経費削減への取組みに努力した。

8．各種会議・会合の有効な運営

・有信会活動を有効に進展させるため、各種会議・会合を必要に応じ開催し組織の活性化に務めた。

9．一般社団法人移行認可申請

・公益法人制度改革にともない平成25年4月1日付けで、「社団法人有信会」から「一般社団法人福岡大学同窓会有信会」への移行登記を行った。

商大会

来年を最後に商学部合流へ

母校の前身・福岡商科大学の同窓会「商大会」（飯田栄之助会長）総会が五月十日、福岡市中央区の福岡国際ホールで開かれた。有信会から川畑理事長らが出席、会員も約五十人が参加して総会、講演会、懇親会が行われた。

総会では物故者へ黙とうのあと事業報告や収支報告。飯田会長から「会員たちは八十歳を超し、出席者も年々減る一方。来年の第十回総会を最後にしたい。その後は商学部同窓会に合流させてもらいたい」との提案があり、全員が拍手で承認した。懇親会の冒頭、川畑理事長も祝辞の中で「合流をぜひ実現したい」と表明した。

講演会では福岡大学病院の田村和夫病院長が「高齢者とガン」と題して話した。懇親会は、会員の田中猪一郎さん（32卒）が妙技「南京玉すだれ」を披露(**写真**)、カラオケのノド自慢などで賑わった。

丸写真は田村福大病院長

学部同窓会

法学部

丸写真は大慈弥副病院長

有信会の行事に積極参加を

法学部同窓会（三ツ角直正会長）の第10回総会は、有信会会員大会翌日の六月二十二日、母校文系センターで催された。母校から砂田法学部長をはじめ学部関係の名誉教授など、有信会からも川畑理事長ら来賓を含めて七十人が出席。

まず総会。事業・決算報告、同計画・予算案などがいずれも拍手で承認された。このうち、事業計画では学部同窓会が有信会の支部組織として活動することになったため、各行事への積極的参加が呼びかけられた。また、来年の総会は五月十六日開催が決まった。

講演会(**写真**)もあった。福大病院の大慈弥裕之副病院長が「福岡大学がリードする領域・抗加齢医学と美容医療」と題して顔面老化のメカニズムなどを語った。懇親会では、三ツ角会長が「法学部は創設五十五年。あと五年で還暦を迎える。頑張ろう」と呼びかけ、川畑理事長も祝辞を述べた。

平成25年度　貸　借　対　照　表

(平成26年3月31日現在)

単位：千円

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	41,327	82,136	△ 40,809
預り金預金	39	118	△ 79
流動資産合計	41,366	82,254	△ 40,888
2．固定資産			
(1) 基本財産			
基本金資産	300	300	0
有信振興基金資産	0	200,000	△ 200,000
基本財産合計	300	200,300	△ 200,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,987	3,416	571
特定資産合計	3,987	3,416	571
(3) その他固定資産			
事業積立金Ⅰ	150,000	150,000	0
事業積立金Ⅱ	0	40,000	△ 40,000
什器備品	1,012	716	296
その他固定資産合計	151,012	190,716	△ 39,704
固定資産合計	155,299	394,432	△ 239,133
資産合計	196,665	476,686	△ 280,021
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
前受会費	71,502	70,130	1,372
預り金	39	117	△ 78
流動負債合計	71,541	70,247	1,294
2．固定負債			
前受会費	103,245	81,175	22,070
退職給付引当金	3,987	3,416	571
固定負債合計	107,232	84,591	22,641
負債合計	178,773	154,838	23,935
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	300	300	0
(うち基本財産への充当額)	(300)	(300)	(0)
2．一般正味財産	17,592	321,548	△ 303,956
(うち基本財産への充当額)	(0)	(200,000)	(△ 200,000)
(うち特定資産への充当額)	(3,987)	(3,416)	(571)
正味財産合計	17,892	321,848	△ 303,956
負債及び正味財産合計	196,665	476,686	△ 280,021

平成25年度　正味財産増減計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

単位：千円

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
財産運用収益	364	417	△ 53
受取会費収益	102,682	99,185	3,497
受取会費収益(1)	(93,280)	(89,840)	(3,440)
受取会費収益(2)	(9,402)	(9,345)	(57)
受取負担金収益	3,613	3,759	△ 146
有信共益事業収益	4,431	5,986	△ 1,555
有信八日会収益	(2,939)	(4,453)	(△ 1,514)
有信ゴルフ会収益	(1,492)	(1,533)	(△ 41)
雑収益	100	204	△ 104
経常収益計	111,190	109,551	1,639
(2) 経常費用			
事業費	389,744	79,212	310,532
特定寄付金支出	321,949	0	321,949
母校援助費	13,788	24,765	△ 10,977
広報誌発行費	24,856	25,057	△ 201
ＩＴ事業費	3,169	3,095	74
会員大会費	5,025	5,144	△ 119
レディーズクラブ総会費	992	928	64
講演会費	1,904	2,386	△ 482
新年賀詞交換会費	1,064	1,074	△ 10
支部援助費	12,430	10,781	1,649
有信共益事業費	4,567	5,982	△ 1,415
有信八日会支出	(3,071)	(4,453)	(△ 1,382)
有信ゴルフ会支出	(1,496)	(1,529)	(△ 33)
管理費	25,402	28,836	△ 3,434
給料手当費	12,040	11,956	84
福利厚生費	1,429	1,522	-93
会議費	1,945	3,067	△ 1,122
旅費交通費	2,114	4,759	△ 2,645
通信運搬費	995	1,417	△ 422
消耗品費	466	622	△ 156
印刷製本費	2,430	2,270	160
賃借料費	1,087	1,087	0
光熱費	133	129	4
支払手数料費	186	187	△ 1
雑費	1,817	1,004	813
退職給付費用	571	559	12
減価償却費	134	257	△ 123
什器備品除却損	55	0	55
経常費用計	415,146	108,048	307,098
当期経常増減額	△ 303,956	1,503	△ 305,459
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 303,956	1,503	△ 305,459
一般正味財産期首残高	321,548	320,045	1,503
一般正味財産期末残高	17,592	321,548	△ 303,956
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300	300	0
指定正味財産期末残高	300	300	0
Ⅲ　正味財産期末残高	17,892	321,848	△ 303,956

平成25年度　収　支　計　算　書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

単位：千円

科　目	予算額	決算額
Ⅰ　事業活動収支の部		
1．事業活動収入		
①　財産運用収入		
財産運用収入	194	364
②　会費収入		
会費収入(1)	93,250	93,280
会費収入(2)	10,000	9,402
③　負担金収入	3,585	3,613
④　有信共益事業収入		
有信八日会収入	4,210	2,939
有信ゴルフ会収入	1,380	1,492
⑤　雑収入	60	100
事業活動収入計	112,679	111,190
2．事業活動支出		
①　事業費支出		
特定寄附金支出	321,949	321,949
母校援助費支出	14,950	13,788
広報紙発行費支出	26,399	24,856
ＩＴ事業費支出	3,595	3,169
会員大会費支出	5,300	5,025
レディーズクラブ総会支出	1,307	992
講演会費支出	2,097	1,904
新年賀詞交換会支出	1,200	1,064
支部援助費支出	14,385	12,430
有信共益事業支出		
有信八日会支出	4,210	3,071
有信ゴルフ会支出	1,380	1,496
事業費支出計	396,772	389,744
②　管理費支出		
給料手当支出	12,137	12,039
福利厚生費支出	1,610	1,429
退職金支出	2,167	0
会議費支出	2,585	1,945
旅費交通費支出	2,610	2,114
通信運搬費支出	1,700	995
消耗品費支出	750	466
印刷製本費支出	2,624	2,430
賃借料支出	1,086	1,087
光熱費支出	160	133
支払手数料支出	300	186
雑費支出	1,860	1,817
管理費支出計	29,589	24,641
事業活動支出計	426,361	414,385
事業活動収支差額	△ 313,682	△ 303,195
Ⅱ　投資活動収支の部		
1．投資活動収入		
①　有信振興基金資産取崩収入	200,000	200,000
②　事業積立金Ⅱ取崩収入	40,000	40,000
③　退職給付引当預金取崩収入	2,167	0
投資活動収入　計	242,167	240,000
2．投資活動支出		
①　特定資産引当資産支出		
退職給付引当預金支出	571	571
②　固定資産取得支出		
什器備品取得支出	500	485
投資活動支出　計	1,071	1,056
投資活動収支差額	241,096	238,944
Ⅲ　財務活動収支の部		
1．その他の収入		
前受会費収入	92,577	93,572
その他の収入計	92,577	93,572
2．収入調整勘定支出		
前受会費調整支出	70,130	70,130
収入調整勘定支出　計	70,130	70,130
財務活動収支差額	22,447	23,442
Ⅳ　予備費支出	3,000	0
当期収支差額	△ 53,139	△ 40,809
前期繰越収支差額	82,136	82,136
次期繰越収支差額	28,997	41,327

学科50周年創設

母校工学部に建築学科と社会デザイン工学科（旧土木工学科）が増設されたのは昭和三十九年四月。現在の六学科の基礎を築いた。あれから半世紀。両学科は創設五十周年を迎えた。これを記念して建築学科は「建築展２０１４」を四月二十五～二十七日に福岡市中央区のアクロス福岡で開催、シンポジウム、記念講演、祝賀会も行った。社会デザイン工学科も十月十八日（土）に記念講演会、式典・祝賀会を予定している。

建築展会場でパネリスト４人が並んだシンポジウム

建築学科

建築展、シンポ、講演

五十周年記念事業は建築学科と同窓会・彗揚会（中野良博会長）の共催で行った。学科の卒業生は五千四百人。建設会社、住宅メーカー、設計事務所、官公庁などさまざまな分野で活躍中だが、いずれの催し物も盛会で、一般客も多かった。

「建築展２０１４」は卒業生が働く三十六社から各種作品や業績などを展示。三日間で約千八百人の入場者が訪れた。シンポジウムは卒業生四人がパネリストになって「学生時代に描いた夢と今の仕事内容・夢について」と題して語った。四人は陶彫家やアニメーション作家や建設会社員など。

記念講演は東京大名誉教授で建築家の原広司さんが「様相について」をテーマに、約二時間にわたって建物の具体例を示しながら説明した。祝賀会には大学から衛藤学長や荒牧重登工学部長、有信会からも川畑理事長らが出席。祝辞などがあった。このほか、彗揚会では記念誌の発行も予定している。

社会デザイン工学科と同窓会・福陽会（上村徹会長）も記念事業実行委員会を立ち上げ、十月十八日（土）に備えている。

記念講演会は同日午後二時から母校キャンパスのＡ棟ＡＢ０１教室で。ＮＨＫエンタープライズ制作本部エグゼクティブ・プロデューサーの尾関憲一さんが「まち歩き番組で見えてきた都市の秘密～〝ブラタモリ〟制作の舞台裏」をテーマに一時間半にわたって話す。参加無料。

社会デザイン工学科

10／18に講演会や式典

記念式典・祝賀会は会場を福岡市中央区のホテルニューオータニ博多に移して午後五時半から。参加者は申し込みが必要で、会費は七千円。同実行委員会では募金活動も行っており、一口五千円。また、記念誌広告も募集中。いずれも応募者には記念誌を進呈。申し込み・問い合わせはTEL092-871-6631（内線6462）E-mailはc.ivil@fukuoka-u.ac.jp

10／18に記念コンサート

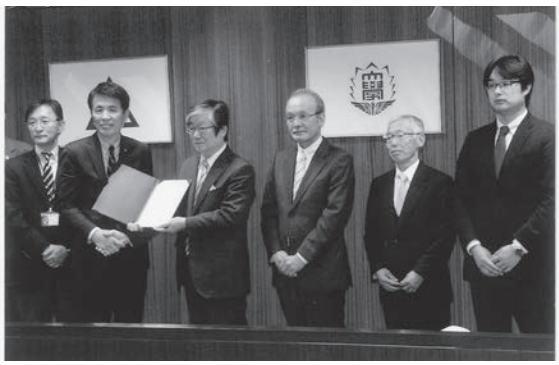
ハッピーハウス ジャズバンド結成50周年

母校学術文化部会の器楽部ＯＢたちで組織するジャズバンド「ハッピーハウス」（水谷茂之代表）が結成五十周年を迎え、記念コンサートを十月十八日（土）午後六時から福岡市中央区のセントラルホテル福岡で開催する。

同バンドは器楽部のハワイアン、ウエスタン、デキシーのうち「ＦＵデキシーランダーズ」に所属していたＯＢがメンバー。昭和三十九年十月に発足した。現在は三十六年―四十一年卒の九人がトロンボーン、トランペット、バンジョー、クラリネット、ベース、ドラム、ボーカルなどを担当。

メンバーはこれまで仕事の合間を縫ってさまざまな演奏活動を続けてきた。近年は神戸で行われる全日本デキシーフェスティバルに参加したり、長崎や鹿児島のバンドと連携して九州デキシーランドジャズクラブ（ＱＤＪＣ）の毎月のライブも継続している。

調印書を持つ福岡市の中園副市長（左から２人目）と衛藤学長（同３人目）



母校と福岡市

包括「連携協定」を結ぶ

起業や創業、健康づくりも

母校と福岡市が地域の発展と人材の育成を目指す包括的な「連携協定」を締結した。衛藤学長と髙島宗一郎市長が同市役所で三月十三日に調印式、記者会見した。具体的には、九州で最も多くの社長を輩出している母校と同市が手を結んで起業や創業を支援したり、全国のモデルとなるような健康まちづくりを目指すとしている。

記者会見には母校から衛藤学長、今泉副学長、スポーツ科学部の田中宏暁教授、商学部の飛田努准教授らが出席。福岡市側は母校卒の中園政直副市長（商二52）が対応した。

連携する内容は①教育・人材育成②文化・産業③健康・医療・福祉④まちづくり⑤環境保全⑥防災・防犯⑦国際交流⑧人的交流⑨インターンシップ等の現地学習⑩その他―の十項目。両者は具体化するための推進協議会を設ける。

衛藤学長は「大学も今年で創立八十周年。市の発展とともに本学も発展していきたい。連携をいっそう強固にしていく」と決意を表明。中園副市長も「城南区などではこれまでもさまざま連携してきた。今回の協定で両者がさらに近づいた」と喜びを語った。

喜びにはサクラが似合う

母校キャンパスは今春も喜びに包まれた。卒業式が三月十九日に行われ、大学院生百九十二人を含めて四千二百二人が巣立って行った。社会人になると同時に有信会の会員になる。母校の卒業生総数は約二十四万四千人になった。続いて入学式は四月一日。五万人を超した志願者の中から四千五百二十一人と大学院二百七十九人の合わせて四千八百人が、新緑が薫る有信並木をくぐった。キャンパス内はちょうどサクラが満開。喜びの日に花を添えた。

決意を読み上げる新入生代表

後輩たちからお祝いの胴上げを受ける卒業生

卒業式

4202人が晴れの巣立ち

卒業生の三九%が晴れ着やはかま姿の女性、付き添いの家族も多くキャンパス内は一気に華やいだ。ブラスバンド部の式典序曲演奏で始まった式典では、まず学位記の授与。ステージ上で、衛藤学長が各学部と大学院の代表十一人に卒業証書を手渡した。

続いて学長式辞。「卒業生の皆さんには正義感と倫理観という言葉を贈ります。自分自身、家族、社会を支える強力な支柱として活躍してください」と餞を述べた。学校法人の鎌田迪貞理事長も「社会の変化に適切に対応するため学び続けることが大切」とあいさつした。

衛藤学長から学位記を渡される卒業生代表

有信会の川畑理事長の祝辞、在学生の送辞、卒業生の答辞などもあった。また、課外教育活動で優秀な成績を収めた学生を表彰する学長賞がスポーツ科学部卒業の梅野隆太郎さん（野球）藤嶋栄介さん（サッカー）に贈られた。

式典を終えた卒業生の中には会場の表で待ちかまえるクラブ活動の後輩たちに、胴上げなどの祝福を受ける姿もあった。

川畑理事長の祝辞（要旨）

母校とともに歩んで参りました同窓会「有信会」は、学部ごとの同窓会のほか東京から沖縄まで六十一の地域支部と三十八の職域支部で構成されています。新会員の皆さんにとって、厳しい社会で先輩方のアドバイスや交流によってそれぞれの地域で心強い味方ができる事と存じます。有信会は会員と母校をつなぐ架け橋。母校をバックアップし、絆を深めて行きたいと願っています。

入学式

4521人が新緑くぐって

好天に恵まれたキャンパスには新入生の笑顔と満開のサクラが弾けた。式典会場の第二記念会堂には保護者の姿も溢れた。衛藤学長が式辞。鎌田理事長も「社会が求めている人材は幅広い教養と高い専門的知識を持った創造力豊かな人間。グローバルに活躍できる人材です」とあいさつした。

壇上に並んだ大学の役職員が次々に紹介され、父母後援会長の祝辞もあった。

キャンパスの満開のサクラに迎えられる新入生たち

在学生代表が「学友会のクラブ活動にも積極的に参加を」と呼びかけ、新入生を代表して医学部の藤木健太郎さんがこれからの学生生活に対する決意を述べた。

式典には昭和四十六年卒のOBも希望者四十五人が招待され、二階の左側スタンドから見守った。また右側スタンドには校歌斉唱のためメールハーモニー部が着席したが、ここにもOB十三人が同席、日ごろのノードを披露した。一方、愛好会会館ではことしも新入生のためのリサイクルマーケットが開催された。卒業生や地域の人々から寄せられた家具や電化製品約千点が無料提供された。

2階スタンドに並ぶS46年卒のOBたち

衛藤学長の式辞（要旨）

大学生活のスタートに当たって心がけるべき点を六つ述べます。①強い意志、志を持つこと。そのための努力を惜しまない②三つの「知」を学ぶこと。教養知、専門知、経験知で自分を磨く努力を③勉学が核（コア）であること。勉学から充実感と喜びを④時間を大切にすること。目的意識を持って過ごす⑤出会いを大切にすること⑥「建学の精神」と「校歌」を覚えること。主体的な努力と精進を。

ホームカミングデーについて打ち合わせする大学側と有信会役員ら

今年も11/3（文化の日）

「卒業生の集い」と称して母校と有信会が共催で開催する第十三回ホームカミングデーが今年も十一月三日（文化の日）に行われる。キャンパス内の六十周年記念館へリオスホールで講演会などがある。当日は三日間にわたって開催される学生たちのイベント「七隈祭」の最終日で、先着二百五十人にはバザークーポン券や記念品も贈られる。

卒業生は母校に集まろう！

当日は午前十時から受け付け開始。開会は同十一時。衛藤学長と川畑有信会理事長のあいさつに続いて講演会。工学部の樋口壮太郎教授が環境をテーマとした話を予定している。このあと学生たちのマンドリンクラブによる演奏なども行われ、参加者を楽しませてくれる。

講演する樋口教授は北九州市若松区のエコタウンで資源循環による都市環境づくりの学術研究を行っている。処理処分の実証実験で得た洗浄のノウハウを生かし、福島第一原発事故で発生した放射性廃棄物からセシウムの除去にも成功。被災地での活用が期待されている。

マグカップ

先着者に贈られるバザークーポン券は千円相当。七隈祭の会場で使える。会場には百数十に上る学生たちの模擬店が出ている。また、記念品はステンレス製真空二重のマグカップ。結露しにくく、冷温とも温度が長持ちする優れ物。重宝されそうだ。

10/3 チャリティゴルフ80回大会

レディーズクラブのつどい 11/15

恒例の有信チャリティゴルフ大会が今年で八十回目を迎え、十月三日（金）午前八時から小郡市三沢の小郡カンツリー倶楽部で行われる。18ホールストロークプレイWペリア方式。参加者三百人を募集中。八月三十日締切り。申し込みは有信会事務局。参加者たちから集まった募金は福岡市西区今津の社会福祉法人・野の花学園に贈られる。

また、女性の卒業生たちが交流を深める二十六年度レディーズクラブのつどいは十一月十五日（土）午後零時半から福岡市中央区の福岡国際ホールで開かれる。講演会があり、福岡大学筑紫病院の向野利寛病院長を講師に予定。演題は未定。会費は三千円。

商学部同窓会は9/27予定

学部同窓会関係では、医学部同窓会総会が七月五日、経済学部同窓会総会も七月十九日に行われ、商学部同窓会総会が九月二十七日（土）午後六時半から福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で催される。総会のあと懇親会。会費は六千円。多数の参加者を募っている。

お詫びと訂正

「有信」144号の四頁「新体操競技部が20周年」の記事中、歴代部長名に「林豊子氏」とあるのは「林弘子氏」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

◆有信会の主なスケジュール◆

月	日	予定行事
8	2	八日会納涼大交流会
	下	岡山支部総会
	下	大分銀行支部総会
9	上	豊和銀行支部総会
	13	神戸支部総会
	27	商学部同窓会総会
	下	鳥取西部支部総会
10	3	有信チャリティゴルフ大会
	上	島根東部支部総会
	上	大野城支部総会
	25	大分支部総会
	25	宮崎県支部総会
	25	鹿児島支部総会
	下	直鞍支部総会
11	3	ホームカミングデー
	7	東海支部総会
	8	大阪支部総会
	8	京築支部総会
	上	みやま支部総会
	15	レディーズクラブのつどい
	15	下関支部総会
	中	愛媛県支部総会
	中	八女筑後支部総会
	下	長門支部総会
12	4	理事会・連絡協議会
	6	香川県支部総会
	6	忘年八日会

［注］上中下は上旬、中旬、下旬

ファイル

コミュニケーション能力は福大卒が全国トップ

RKBラジオが六月十六日朝九時からの番組「開店！ウメ子食堂」で、こんなニュースを報じた。実はこれ、日本経済新聞の同日付け朝刊紙面を紹介したもの。全国上場企業の人事担当者を対象に新卒社員の出身大学についてイメージ調査を実施したところ、「対人力」のトップが母校卒だった。コミュニケーション能力、ストレス耐性、課外活動に積極的―などの評価が高かった。「就職支援に熱心に取り組んでいる」でも大阪工大とともに四位。ちなみに各項目トップは「行動派」が国士舘大「知力・学力」は一橋大「独創性」が信州大「専門性・仕事力」は東京工大、そして「総合ランキング」の一位は京都大。

サッカー部が全国制覇を目指して九州V

九州の大学サッカートーナメント大会決勝戦が六月八日に小郡市であり、母校と鹿屋体大が対戦。0―0のままPK戦の末、3―2で勝って二年ぶり九州王者に返り咲いた。優勝は二十九回目。八月八日から開幕する総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで2009年以来の全国制覇を目指す。

アサヒコーポレーション（旧日本ゴム）社長に佐藤さん（経53）

久留米市洗町に本社を置く（株）アサヒコーポレーションの社長に、専務で営業・商品本部長だった母校出身の佐藤栄一郎さん（経53）が就任した。三月末の株主総会・取締役会で決まった。同社は旧日本ゴムで、明治二十五年創業。ゴム履き物や革靴製造、販売のしにせ。

小石原焼の福島さん（経57）が紫綬褒章

叙勲を受ける卒業生が増える中、学術・文化・スポーツで顕著な功績があった人をたえる今春の紫綬褒章に母校出身で小石原焼窯元の福島善三さん（経57）が選ばれた。小石原焼では初めて。

終身会費納入のお願い

有信会は終身会費により運営されています。

会費未納の方は、出費多端の折恐縮ですが、納入下さいますようお願い申し上げます。

発行所
福岡市城南区七隈8-19-1
一般社団法人
福岡大学同窓会有信会
郵便番号　814-0180
電話（092）871-6631
FAX（092）863-3668
印刷所
福岡市西区周船寺3-28-1
正光印刷（株）